

2023年度 日本工学院専門学校											
声優・演劇科											
シナリオⅡ											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	40	単位	1
担当教員	吉田 朝			実務 経験	有	職種	ラジオディレクター・ナレーター				
担当教員紹介											
早稲田大学入学とともに演劇を始め、卒業後は舞台・ドラマ・映画などで活躍。またパフォーマンスグループ「TAI CHI-KIKAKU」に参加し日本のみならず海外でも公演を行う。											
授業概要											
この科目を受講する学生は、音声表現のみでの演技をすることを目的とし、台本の読解、台本に書かれている場面の想像力を、音声のみを使って表現することを習得するものである。台本に書かれている内容を解読し、そのシチュエーションを想像し、動作、距離、感情を声のみで表現しながら、他の人との掛け合いの「間」に重点をおいて芝居を展開する。その後に各グループに分かれスタジオでの収録をし、1本のドラマを作り上げていくことを目指す。											
到達目標											
ラジオドラマ及び朗読劇での表現を身に着け、声だけの表現で動き及び感情を表現できるようにできることを目標としている。											
授業方法											
学生全員が自分の姿が見られるよう、鏡を並べ、講師は先頭で踊りながら教えていく。											
成績評価方法											
総合演技	50%	収録時の演技を評価する。									
理解力	30%	授業内での理解度の進歩を評価する									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。									
履修上の注意											
この授業では台本に書かれている文字を映像化して頭の中に浮かび上がらせることが大切であり、台詞の「間」を表現方法として会得しなければならない。台本を読む事だけに集中することなく、会話のテンポ、それぞれのシチュエーションを現実として理解し、動きを「間」として理解しなければならない。											
教科書教材											
その都度、授業にて資料配布を行う。											
回数	授業計画										
第1回	ドラマ 5 台本読み。非現実ドラマの台本の内容把握 キャスティング										
第2回	ドラマ 5 台本読み合わせ。ドラマの世界観の理解 表現方法の会得 登場人物の性格把握										
第3回	ドラマ 5 演技実習。ドラマの持つ世界観の表現方法の習得										
第4回	ドラマ 5 演技実習。会話の「間」の理解										
第5回	ドラマ 5 収録。ドラマ全編の収録 視聴 個々の演技の確認										

2023年度 日本工学院専門学校	
声優・演劇科	
シナリオⅡ	
第6回	ドラマ 6 台本読み。長編ドラマの台本の読解 内容理解 キャスティング
第7回	ドラマ 6 台本読み合わせ。シーンごとの内容の理解 ドラマの世界観の理解 登場人物の性格把握
第8回	ドラマ 6 演技実習。起承転結での表現の違いの理解
第9回	ドラマ 6 演技実習。会話のテンポ間の表現
第10回	ドラマ 6 演技実習。間の表現
第11回	ドラマ 6 収録。ドラマ全編の収録 視聴 個々の演技の確認
第12回	ドラマ 7 台本読み。長編ドラマの台本の読解 内容理解 キャスティング
第13回	ドラマ 7 台本読み合わせ。シーンごとの内容の理解 ドラマの世界観の理解 登場人物の性格把握
第14回	ドラマ 7 演技実習。起承転結での表現の違いの理解
第15回	ドラマ 7 演技実習。会話のテンポ 間の表現
第16回	ドラマ 7 演技実習。ドラマ全編を通しての表現の確認
第17回	ドラマ 7 演技実習。物語の雰囲気理解 間の表現の確立
第18回	ドラマ 7 演技実習。間の表現の確立
第19回	ドラマ 7 収録。ドラマ全編の収録 視聴 個々の演技の確認
第20回	まとめ。音声表現ドラマの総括